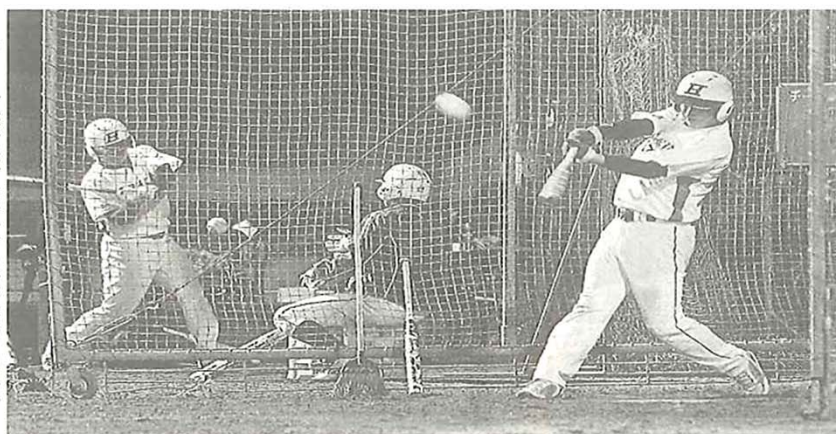


フリー打撃で快音を響かせる平林金属クの主砲
小見山敦史(右) HIRAKINライズ球場



連覇敵しい平林金属ク

ソフトボール男子
西日本L 4強懸け最終3戦

ソフトボール男子の西日本リーグで暫定4位の平林金属ク(岡山市)は26、27日、尾道市の御調球場で最終残り3試合に臨む。現在8勝5敗で、2連覇の可能性をわずかに残しており、東西両リーグの上位4チームによる決勝トーナメント(11月16、17日・愛知県豊田市)進出へ向けても負けない戦いとなる。

平林金属クは、首位大阪桃次郎を2勝差で追う。4強入りを目指す3連

◇西日本リーグ順位表◇ (第3節終了時点)

チーム	試勝敗
①大阪桃次郎	13103
②N e o長崎	1293
③ダイワアクト	1284
④平林金属ク	1385
-----決勝T進出ライン-----	
⑤旭化成	1275
⑥高知PW	1257
⑦ジェイテクト	1248
⑧ウエストSBC	1349
⑨オール福岡	13112

◇平林金属クの対戦相手◇

▽最終節(尾道市御調球場)	
26日	ダイワアクト(佐賀)
27日	ジェイテクト(徳島)
//	ウエストSBC(愛媛)

勝に狙いを定める。

「勝負は初戦」。投打の要・松田は第1戦で当たる3位ダイワアクト戦をポイントに挙げる。相手エースのカークパトリックは豪州代表で身長2メートルの左腕。防御率はリーグ1位の1・39を誇り、3月の世界選手権では日本を相手に無安打無得点試合を達成した。前回対戦時は4-0で快勝したが、「勝つならロスコアの展開。ベストピッチをして投げ勝ちたい」と松田は力を込める。

不振が続いた打線はやっと上向いてきた。第3節(12、13日・高知市)は4試合で計5本塁打、19得点。リーグ1位の6本塁打の小見山は「要所でチームを勢いづける1本を打つ」と力強い。試合序盤で主導権を握れることも重要で、バントなど機動力を駆使したい。

勝負の3連戦。「今こそチーム力が試されている。この緊迫した雰囲気を楽しむつもりで向かっていく」と主将の小原。貪欲に勝利を積み上げる。(村上達也)